ひなどり

園だより　６月号
令和５年５月３１日
新潟市立新津第三幼稚園

「夢の原点」

園長　　川合　千尋

子どもたちが，お誕生会などで「おおきくなったら何になりたいですか？」と聞かれて，「〇〇になりたいです。」「〇〇をしてみたいです。」と自分の夢をお話ししている様子を見るにつけてほほえましく感じています。

最近の若い人は，夢を持てなくなっているなんて話を聞くことがありますが，園児や児童の話を聞く機会が多い私には，大きくなるにつれて人前で語ることに遠慮がちになっているケースが多いのかなあと思っています。それでも，あまりに選択肢が多くて，何をしていいか分からない若い人も増えていることも事実のようです。

そもそも夢の原点になるものは何かなあと考えてみました。子どもたちの様子を見ていると，結局は自分自身が何が好きで，何をやりたいかを見つけることからスタートするように思います。電車が好きな子は電車の運転手さん，子どものお世話が好きな子は，保育士さんや先生，お菓子が好きな子はお菓子屋さんなどなど，始まりは好きなことです。逆に言うと，何をしていいか分からない人は，自分自身がどんなことが好きなのかよく分からないのだと思います。

そんなことを考えていると，子どもたちには，自分の好きなものをたくさん発見してもらいたいという想いがあふれてきます。いろいろなことを体験して，経験して，発見して，感動して，またやってみたいな，また見てみたいな，をどんどん増やして自分の大好きをたくさん見つけてほしいと願ってやみません。少し大げさかもしれませんが，大好きの数だけ人生が豊かになっていくことでしょう。第三幼稚園でも子どもたちの大好きが増えるように，どんどんいろいろな取組をしていきたいです。そして，それが子どもたちの夢の原点になっていくことを願っています。

毎月のお楽しみ「誕生会」♪